

「竹原市人口ビジョン」及び「第2期竹原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 策定のための意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

令和2年2月4日
企画政策課

これまで進めてきた人口減少問題の克服を目指す地方創生の取組を、切れ目なく持続するため第2期の竹原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）の策定を行っている。

総合戦略の策定過程において市民の参画機会を創出するとともに、行政運営の公正性・透明性の確保を図るため、意見募集（パブリックコメント）を行った。

1 実施内容

| 項目 | 内容 |
|-----------|--|
| 実施期間 | 令和元年12月27日（金）～令和2年1月26日（日） 31日間 |
| 意見提出が出来る人 | 市内に住所を有する人，市内に存する事務所又は事業所に勤務する人，市内に事務所又は事務所を有する個人及び法人並びにその他団体，市内に存する学校に在学する人，その他利害関係のある人 |
| 閲覧場所 | 市役所企画政策課，忠海支所，荘野出張所，吉名出張所，各地域交流センター，市ホームページ |
| 周知方法 | 市ホームページ，広報たけはら |

2 実施結果

| 項目 | 内容 | |
|--------|--|----|
| 意見提出者数 | 3名 | |
| 意見の種類 | 人口の見通しに関すること | 1件 |
| | 基本目標に関すること | 1件 |
| | 施策に関すること | 1件 |
| | 具体的な取組に関すること | 5件 |
| | 合計 | 8件 |
| 意見への対応 | 意見の趣旨により総合戦略に反映するもの | 1件 |
| | 意見の趣旨が既に内容に盛り込まれるなど，総合戦略等の修正を伴わないもの又は今後の取組の参考にするもの | 7件 |

3 具体的な意見内容

| 意見の種類 | 意見概要 | 市の考え |
|------------------|---------------------------|--|
| 人口の見通しに関する こと | 竹原市の10年後の人口を30,000人と設定する。 | 昨年度策定した本市の総合計画では，最近の人口移動の傾向を反映させた将来人口の推計に各種施策の実施効果を勘案し，令和10（2028）年の人口を21,000人と想定しています。 この総合計画はすべての計画の基本であり，人口ビジョンにおける将来展望についても，総合計画の想定人口に基づいています。 |

| 意見の種類 | 意見概要 | 市の考え |
|--------------|---|---|
| 基本目標に関すること | 基本目標3について、人口減少や高齢化が速いペースで進む竹原市としては、「日本一高齢者が活躍できる街を目指します」など、もっと特筆すべき事項を掲げてはどうか。 | 第2期総合戦略では、人口減少、少子高齢化が進む中であっても、地域の賑わいと活力を維持・向上していくため、高齢者だけに限らず、女性や市域外の竹原ファンなど、地域社会や地域経済を支える人々を増やし、また、こうした人たちが活躍しやすい環境づくりを進めることとしています。 |
| 施策に関すること | 「地域を支え活躍する人材の育成・環境づくり」では、「安心して通える学校づくり」を一番目の取組として掲げ、生徒指導の強化などに取り組んではどうか。このことがあって、子供や保護者に教育内容への興味・関心を持ってもらえ、市内の中学校を選択してもらえるようになると思う。 | 地域と連携・協力した学校づくりの推進や、確かな学力の向上に向けた取組による人材育成及び人材が活躍しやすい環境づくりを、より充実・強化する視点が必要と判断し「地域とともにある信頼される学校づくり」と言葉を加えることで、意見を採用します。 |
| 具体的な取組に関すること | 市内に何が（保育所・学校・病院・会議室・展示場・美術館・図書館・ガソリンスタンド・商店・宿泊施設・仕事場等）どれくらい（数や規模等）が適正・必要かを検討し、必要最小限を確保する努力が必要である。 | 第2期総合戦略では、基本目標1の中で、移住・定住の促進に向けて、「暮らしやすい環境の創出」を掲げており、各地域の特性に応じて、日常生活に必要な生活利便施設（商業・医療・福祉・子育て施設など）が充実した利便性の高い拠点づくりを進めることとしています。 いただいたご意見については、今後の具体的な取組にあたって参考とさせていただきます。 |
| | 広島空港や河内IC、コンビニ、バス路線、湯坂温泉郷、仁賀ダム、休耕田、空き家、廃校や荒れた山、元気なお年寄り、少し濃い人間関係など、有形・無形を活かしたまちづくりを地域外の人も含めた皆で考える必要がある。 | 第2期総合戦略では、基本目標3として、地域社会や地域経済を支える人々を増やし、活躍しやすい環境づくりを進めるとともに、地域の貴重な資源を活かしてまちの魅力向上を図ることで、賑わいと活力を維持・向上することとしています。 いただいたご意見については、今後の具体的な取組にあたって参考とさせていただきます。 |
| | 中学校1年生、2年生に、キャリアコンサルタントによる本格的なキャリアコンサルティングを実施してはどうか。「専門家によるキャリアコンサルティングがある」を市内中学校の目玉としてはどうか。生徒増と生徒指導の強化の両面で効果があると思う。 | 第2期総合戦略では、小学校・中学校において、「知識ベース」で確かな学力の向上を目指すと共に、グローバル化する社会を生き抜く力を身に付けさせるための教育活動を推進することとしています。 また、自ら深く考え、多様な他者と協働できる力をもつ子供たちを増やすため、「地域とともにある学校づくり」として市内の学校と地域が一体となり子供を育て、ふるさと竹原を支え、そして郷土を思いながら世界で活躍できる人材の育成を目指すなど、広い人材の育成を行っていきます。 いただいたご意見については、今後の具体的な取組にあたって参考とさせていただきます。 |

| 意見の種類 | 意見概要 | 市の考え |
|------------------|---|--|
| 具体的な取組に関する こと | <p>東広島呉道路と同様の高規格道路を整備することによって、市外への通勤・通学者の移動時間の短縮を図り、転出抑制効果を発現させ、人口減少に歯止めをかける。移動時間の短縮は、大久野島などへの観光客の増加にも寄与すると考える。</p> | <p>第2期総合戦略では、基本目標1の中で、移住・定住の促進に向けて、「U I J ターンの促進」や「暮らしやすい環境の創出」などを掲げており、市民や観光客が利用しやすい持続可能な公共交通ネットワーク体系の構築などに取り組むこととしています。</p> <p>いただいたご意見については、今後の具体的な取組にあたって参考とさせていただきます。</p> |
| | <p>道の駅について、買い物袋が有料であり、観光客を呼び込む姿勢にない。紙製の袋の無料提供や特産品コーナー(2階)の商品陳列の工夫、より適切な接客を行い、観光客のリピーターなどを増やす必要がある。</p> | <p>観光客に対する情報発信やおもてなし・サービスの充実を図るため、第2期総合戦略においては、「地域資源を活かした観光・交流の更なる推進」として、訪日外国人の受入体制の充実や瀬戸内海を活用した体験メニューの開発などに取り組むこととしています。</p> <p>いただいたご意見については、今後の具体的な取組にあたって参考とさせていただきます。</p> |